

保護者の皆さまへ

令和5年10月
廿日市市立大野東小学校
校長 谷本直子

令和5年度全国学力学習状況調査の結果と今後の取組について

菊花の候、保護者の皆さまには平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、見出しの学力調査について、次の通り結果をまとめましたので、報告いたします。また、結果をふまえ、すべての学年において今後も児童の学力向上に努めてまいります。

令和5年度 全国学力・学習状況調査(正答率%)

	国語	算数
本校	71	64
広島県	69	64
全国	67.2	62.5

平均正答率は県平均、全国平均と同じか上回りました。無解答の割合も全国平均、県平均よりも低く、難しい問題にも最後まで取り組む姿勢が身に付いていることが分かります。その上で、課題点と今後の取組をお伝えします。

国語科

「書くこと」に関する項目の正答率が低い結果でした。グラフから読み取ったことを自分の言葉で表現したり、複数の情報を正しく読み取り分かることをまとめたりすることに課題がみられました。

算数科

図形の性質を正しく理解すること、定義や根拠を基に説明することに課題がみられます。また、問題を的確に把握することにも課題がありました。

課題に対する取組

この結果を受け、次の点を全学年で重点的に取り組んでいきます。

- ① 自分の考えを説明したり、文章や資料から分かることを自分の言葉で書いたりする活動を、国語科に限らずどの教科においても意図的に仕組んでいきます。
- ② 低学年においては具体物を操作させる、具体物や図、式を関連付けて考えさせ概念形成を丁寧に行うようにします。根拠をもとに筋道立てて説明できるよう、繰り返し手順を指導していきます。